

令和4年度第1回宗像市民図書館協議会議事録（要点筆記）

開催日時	令和4年6月23日（木）15:00～16:00
開催場所	宗像ユリックス会議室3・4
出席者	委員 河内会長 西島副会長 安河内委員 畠中委員 藤原委員 川上委員 成田委員 （正副会長、宗像市民図書館協議会条例第3条の順）
	事務局 図書課（本田主幹兼係長、西谷企画主査、占部主任図書司書）

【議事内容】

（事務局）宗像市民図書館協議会条例第6条第2号により、委員の過半数の出席が宗像市民図書館協議会（以下、「協議会」という。）の成立条件である。本日は委員総数9人のうち7人が出席しているので、協議会は成立することを報告する。

1. 開会のあいさつ

2. 委嘱状の交付

3. 委員及び事務局の紹介

4. 会長及び副会長選出

会長：河内委員 副会長：西島委員

5. 議事録の作成方法

（会長）本協議会の議事録作成は、宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例施行規則第6条より、会議内容の要点を記録する方法を採っている。今回も同様の方法でよろしいか。

（委員）異議なし。

6. 議事録署名委員の指名

署名委員：西島副会長、川上委員

7. 報告事項

令和3年度市民アンケート結果報告

8. 審議事項

（会長）原則、あらかじめいただいたご質問やご意見に答える形で進行する。

■宗像市読書のまちづくり推進計画実施シートについて

（会長）宗像市読書のまちづくり推進計画実施シートについて、事務局から説明をお願いする。

（事務局）レファレンスサービスについて、令和3年度の協議会で2点ご提案いただいていた。一点目、国立国会図書館のレファレンス協同データベースを市民図書館のホームページにリンクさせる件について、令和3年度に対応した。二点目、図書館要覧のレファレンス件数のカウント方法を工夫する件について、令和4年度からカウント方法を変更、令和5年度の図書館要覧から反映させる。

（会長）宗像市は調べる学習コンクールで全国でも一定の成果を出しており、学校司書が活躍している。活躍するためには蔵書の回転が必要。学校図書館の資料費予算は、令

和4年度も前年度と同額確保しているが、引き続き予算確保に努めてほしい。市民図書館の令和4年度資料費予算も前年度と同額確保しているが他の自治体に比べると少なく、減額はありえない。死守して欲しい。電子図書館を導入しているため、紙媒体は不要と言われるかもしれないが、紙媒体も必要。様々なメディアを使いこなすことが求められている。家で紙媒体が減る可能性があるからこそ、市民図書館が場所と予算を割いて紙媒体を手取る環境を保障する必要がある。

- (委員) 市民図書館中央館2階の調べ学習支援コーナーは本が充実している。紙媒体で検索する力を身に付けてほしい。
- (事務局) 市民一人当たりの資料費は県下で最低クラス。資料費確保に努める。
- (委員) 宗像市は全国での調べる学習コンクールの入賞率が高く、作品のクオリティーも高い。宗像市が配置している学校司書が一番の貢献者。学校図書館に図書館の専門家である学校司書を継続して配置し、子どもたちが読書に足場を置いて成長していけるようにしてほしい。
- (会長) 宗像市は、図書課に行政職と司書を配置し、学校図書館も運営している。市民図書館と学校図書館がリンクし、学校図書館も活性化している、全国的に珍しい図書館であり、今後も継続して欲しい。図書課の行政職と司書は互いに上手く連携している。協議会で意見することで、指定管理ではなく、今の体制が維持されることを望む。
- (委員) 県立図書館と市民図書館の関わりを教えてほしい。県立図書館の方針が市民図書館に下りてくるのか。市独自の方針を決めているのか。
- (事務局) 市民図書館の運営は基本的に自治体の方針を決定。子どもの読書については国で法律を作成し、県の方針を定めているため、県の方針に沿って決定している。また、日本図書館協会が公開している公共図書館の役割も参考にしている。県立図書館主催の職員を対象とした研修会にも参加している。
- (会長) 図書館の活性化や読書率増加につながるような案はあるか。
- (委員) コロナ禍で、親子で出かける場所が限られている。えほんのへやの開館・閉館に一喜一憂している。小さい時から本に親しむことは大事。親子の居場所としてえほんのへやをPRしてほしい。
- (会長) 市民図書館でおはなし会はしているか。
- (事務局) 一部再開しているが、赤ちゃんのおはなし会など休止しているおはなし会もある。
- (会長) 他市ではおはなし会を休止している図書館もある。コロナ禍で大変と思うが、再開を検討してほしい。
- (委員) 雑誌スポンサーを積極的にPRしてはどうか。
- (事務局) コロナ禍で事業者も大変な中、積極的な声掛けは控えていた。ホームページを見て問合せをしてくれる事業者もいた。
- (委員) 保育園の集まりでPRしていいと思う。雑誌スポンサー制度を知らない事業者も多いのではないか。
- (事務局) 宗像市はスポンサーの数が比較的多い。これからもっとPRしていく。
- (委員) 宗像市のLINEに図書館の案内がよく載っている。図書館の取組みが分かりやすくなり、身近に感じるようになった。
- (事務局) 図書館内で事業の案内を掲示しているが、来館者にしか伝わらないため、市公式LINE

や Facebook でも案内している。

(会 長) 今後も継続して取り組んでほしい。

■市民図書館中央館 2 階の活用について

(会 長) 市民図書館中央館 2 階の活用について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、平成 31 年 3 月から A V 資料の視聴を停止している。また、平成 24 年以降 A V 資料を購入していないため、保有している資料が古くなっており、情報視聴コーナーの活用方法を検討している。これからの図書館の在り方等も含めて、情報視聴コーナーの活用案について、委員の皆様のご意見を伺いたい。

(委 員) 情報視聴コーナーは照明が暗く、立ち寄りにくい。コーナー入口にある本棚に目がいかない。照明を明るくしてはどうか。現在はインターネット検索だけ提供しているので、今のスペースは必要か。図書を増やしたほうがいいかもしれない。ただし、映像として保存すべき資料は、容易にアクセスできるようにしてほしい。コーナーの利用者にどのように使いたいか聞いてはどうか。

(会 長) 時間制限を設けて A V 資料視聴を再開してもいいのでは。いい映像資料があれば年 1 本でも購入していいかもしれない。A V 視聴コーナーの設置目的が娯楽提供であれば、2~3 人で見られるブースを作ってもいいかもしれないが、今の状況では予算を割くべきではないかもしれない。合理的配慮などを考えると様々なメディアを体験できるものを市民図書館として一定数確保しておく必要があるかもしれない。

(委 員) 今まで情報視聴コーナーで目の不自由な方がヘッドホンで聞きながら読書する使い方をしていたか。

(事務局) 中央館は目の不自由な方が来館するには交通の便がよくないため、そのような利用はほとんどない。電子図書館導入時に体験会を行い、健康上の理由などで普段は図書館に来ることが難しい方たち 2 人が参加された。電子図書館の使い方を学んだことで、自宅で読めるので嬉しいと好評だった。電子図書館にはテキスト版サイトや読み上げ機能があり、パソコンを設定すれば対応できる。福祉課などに情報を提供し視覚障がいのある方たちに紹介していただいた。

(委 員) 情報視聴コーナーを、多様な手段で読書に親しむ場と捉えてはどうか。インターネットで調べたり、DVD を視聴したりするなど、紙の本を読む以外の手段で読書体験に繋がる場として考え多面的な活用方法を検討してほしい。スポンサーと雑誌を掛け合わせて何かできるのではないか。

9. その他

(会 長) 今後のスケジュールについて事務局からお願いします。

(事務局) 2 回目の協議会は開催しない予定。変更があれば連絡する。

(会 長) 以上をもって、協議会を終了する。

署名委員 西島 潔

書名委員 川上 美子